



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.bekkoame.ne.jp/ro/asachu/

2006 - 2007 年度テーマ

R.I. テーマ 「率先しよう」 R.I. 会長 ウィリアム・ビル・ポイド
2580 地区テーマ 「本来無東西・心は一つ」 地区ガバナー 小澤 秀 瑛
クラブテーマ 「ロータリーを味わおう」 クラブ会長 長 沼 一 雄

本日の卓話

「中国とのビジネスについて」 マイクロエース(株) 社長 有井利行 様

今後の卓話予定

2/7 「インドネシアでの生活と文化理解」元日商岩井インドネシア 支社長 橋本政彦 様
2/14 「地区大会」
2/21 「カンボジア視察報告」 長島資生視察団長
2/26 「3クラブ合同例会」 2月28日は振替休日です



平成19年1月31日

第1022回例会

会長 長 沼 一 雄
幹事 永 井 健 一

| | | |
|-------|---------|---|
| 本日の食事 | パスタブッフェ | アサリのスパゲッティ大葉風味・パンチェッタとトマトのスパゲッティ・サラダ・デザート |
| 次回の食事 | 洋食ブッフェ | カボチャのクリームスープ・イサキのソテー・鶏肉のローズマリー風味トマト煮・サラダ・パン |



2月結婚記念日

初見 正 弘 ご夫妻 4日・須藤 幸 ご夫妻 13日

前回(1021回)の記録

出席報告

| | | | | | | |
|-------|----|--|-----|-----|--------|-------------------------|
| ◆ゲスト | 1名 | 卓話者 童門冬二 様 | | | | |
| ◆ビジター | 6名 | 東京浅草 RC 宮本卯之助 様・東京浅草 RC 三柴直道 様・東京浅草 RC 木村秀司 様 東京浅草 RC 小林正巳 様・東京江北 RC 鈴木 喬 様・東京浅草 RC 山田徳兵衛 様 | | | | |
| 総数 | 休会 | 出席免除 | 出席 | 欠席 | 出席率 | 修正出席率 |
| 51名 | 1名 | 2名 | 39名 | 10名 | 81.25% | 第1019回修正 欠席5名・出席率89.80% |

会長報告<長沼会長>

- ・上半期の事業報告会が終了しました。下期も委員会の皆様よろしくお願ひ申し上げます。
- ・今期は卓話の先生に恵まれ、プロジェクトXの出演者や、本日の童門様を含め、プログ

ラム委員会や紹介者の皆様、誠にありがとうございます。

幹事報告 <永井幹事>

- ・上野RCより例会変更のお知らせです。移動例会より通常例会に変更。参加料無料。

委員会報告

<国際奉仕委員会・上原委員長>

- ・ロータリークリアラントカンボジア募金について
これまで除去した面積 25万7千坪 1億円
今後の計画 2010年までに4千万円

詳細は配布資料をご覧ください。

<ロータリー情報委員会・海内委員長>

浅草神社社務所新築事業協賛勧募に関する件

○協賛要請にあたり

- ・協賛勧募受付期間は平成23年の秋頃迄を予定。
- ・協賛金の要請に関しては全員に対して強制的意味ではなく、あくまで可能な方という任意で構いません。

○名入れについて

- ・1口5,000円ですが、2口(10,000円)以上の場合、協賛銘板という板に協賛者の名前が入り、社務所内にその協賛銘板が設置されます。

○申込方法

- ・浅草神社に所定の申込用紙がありますので、御来社された際に、御記入頂きます。
- ・もしくは郵便振込も可能です。振込先に関しては協賛パンフに記載されています。

<カンボジア日本語学校視察団・大塚団員>

- ・来る2月1日、6時より浅草ビューホテル27階中華レストラン「梨花」にてカンボジア日本語学校視察団の報告会を開きますのでふって御参加下さいませ様ご案内致します。



「歴史に学ぶ街づくり」

作 家

童 門 冬 二 様

<プロフィール>

本名・太田久行。昭和2年、東京に生まれる。かつて東京都庁に勤め、都立大学事務長、広報室課長、企画関係部長、知事秘書、広報室長、企画調整局長、政策室長などを歴任して退職、作家活動に入る。歴史の中から現代に通ずるものを好んで書く。執筆活動のかたわら、講演活動も積極的に行っている。第43回芥川賞候補。日本文芸家協会、日本推理作家協会会員。平成11年 勲三等瑞宝章受賞。

<講演要旨>

- ・家康の時代は江戸=政治、大阪=経済、長崎=外交・貿易と言う機能分散の考えだった。
- ・八代将軍吉宗の改革（享保の改革）は武士に比べ江戸市民の異常な増え方に気づき、政治だけでなく文化、経済機能を含め、江戸市民を頭に入れぬ改革はあり得ないと考えた。
- ・吉宗は改革の目的を論語に求めた。
孔子：“それじゃか” 孟子：“忍びざるの心”……家庭、学校、職場、社会で他人に如何に尽くすか。他人への思いやり、寛容の精神。
IQ（偏差値社会）の反省から出た米国におけるEQ（心の指数）活動と同義と考える。
“水は方円の器に従う” “恒産なくして恒心なし”……江戸の環境整備がなければそこに住む人の気持ちは変らぬ。街づくりなくして改革なし。
- ・福島藩主松平定信の改革（寛政の改革）は間引き防止のため、新田開発や灌漑用水（南湖）を造り、食料増産を図った他、公助、自助、互助の3助方式を打ち出した。即ち、税による助けや家庭の自己負担だけでなく社会全体による負担を推進した。
互助は税金でなく、江戸市民の積み立て金と言うことで意義がある。
明治維新の際、七分積み金の余剰金170万両は東京市に接收され、学校の建設や道路の整備にあてられた。今で言う福祉の社会化（介護保険？）に繋がっていると考える。
- ・いずれの改革も少子化=人口問題からスタートし、愛民を基礎においた街づくりに徹したものと言える。

ニコニコボックス

<長沼会長、永井幹事>

- ・先週の上半期事業報告、委員長の皆様ありがとうございました。

<植木>

- ・本日卓話をお願い致しました、童門先生をご紹介させていただきます。

<天笠、遠藤、井田、原田、海内、山尾、斎藤、関原、吉田、田村、植木、藤野、吉沼>

- ・本日の卓話 童門冬二先生 「歴史に学ぶ街づくり」 楽しみにしております。

<松崎、矢野>

- ・海内さんを通して、浅草神社社務所新築、協

賛勧募のお願いをさせて頂きました。謙虚さを表す為にも、ニコニコ致します。

<松崎>

- ・海内さん、矢野さん、永井さん、びんざさら新年会にご出席頂き、ありがとうございました。

<遠藤>

- ・ヨーロッパ出張で年初から2回欠席してしまいました。SAAの皆さんをはじめ、ご迷惑をおかけしました。

<太田、大塚>

- ・アジサイ 隅田公園花の名所づくり事業、皆様のご協力ありがとうございました。社会奉仕委員会の皆さんお疲れさま。